

2～3月に行われたイベントなどについて  
お知らせします



## 新春芸能発表会



2校が思いを一つに演奏

2月17日(土)・18日(日)、今市文化会館で市文化協会今市支部による新春芸能発表会が開催されました。カラオケ、新舞踊、バレエなどさまざまなジャンルの発表に、観客からは大きな歓声が上がりました。

また、特別企画として17日は今市中学校と大沢中学校の吹奏楽部による合同ステージが披露されました。ディズニーメドレーや昭和歌謡曲メドレーなどが演奏され、大人も子どもも手拍子をするなど、会場一体となって演奏を楽しみました。

合同ステージに臨んだ、今市中学校部長の梅原菜南さんと大沢中学校部長の絵面留己さんは「他校の人と交流ができるいい機会になった」「いつもの音色に新たな音色が加わることで新鮮で演奏を楽しめた」と話してくれました。

発表者たちは今までの練習の成果を発揮し、新春にふさわしい華やかな発表会となりました。



華やかな舞で人々を魅了します



親子でゆっくり牡丹を楽しみます



どっちがきれいに撮れるかな♪

2月23日(金・祝)～2月29日(木)、道の駅日光二ノ宮本陣二ノ宮ホールで牡丹室内庭園が開催されました。牡丹は昔から、「花王」とも呼ばれ、日光東照宮などの彫刻にも数多く用いられているそうです。  
来場者は、写真に収めたり、じっくり見て回ったり、和の雰囲気を感じ

じる、装飾された会場を思い思いに楽しんでいました。また期間中、今市牡丹愛好会による育て方教室や「花園コンサート」も開催されるなど、大いに盛り上がりました。  
室内庭園に毎年訪れているという片庭さんは、「今年も牡丹を見られて良かったです。とてもきれいでした」と話してくれました。



花や動物などがモチーフのかわいらしいつるし雛

2月10日(土)～3月3日(日)、日光田母沢御用邸記念公園邸内で、子どもたちの健やかな成長を願い、「桃の節句 つるし雛・雛飾り」が開催されました。  
御用邸の入り口付近では、7段の雛飾りが展示され、訪れた観光客たちを、一足早く春の装いで迎えていました。



シャッターを切る来園者たち

また、御用邸一階の「皇后御座所」や「皇后御寝室」など4カ所には、市内で活動するちりめん細工教室「古布・縮細細工教室 まゆ」の皆さんが、ひとつひとつ丹精込めて制作した、色とりどりの「つるし雛」約40点が飾り付けられ、会場はかれんで華やかな雰囲気に包まれました。

## 牡丹室内庭園

## 田母沢御用邸記念公園 つるし雛・雛飾り



## 箏でつなぐ邦楽の魅力

日光田母沢御用邸記念公園「秋の音楽祭」

### 箏演奏家 和久 文子さん(今市在住)

お箏は、とてもシンプルな楽器です。ただ、シンプルだからこそテク

#### 一音の音の魅力

「一生この先生についていきたい」と思ったのが、大人になってからの本当のお箏との出会いでした。

小学校の友だちがピアノを習っていて、当時の私は、いつも友だちが弾くピアノの隣で音色に聴き入っていました。低音の音が胸に響いて、とても心地が良かった。いつの間にか音楽の魅力に引き込まれていました。それから、近くで音楽の先生をやっていた方がお箏の先生だったこともあり、母の勧めで、お箏を始めたのがきっかけです。

現在、日光市を始め、県内各地でスクールコンサート

お箏は、とてもシンプルな楽器です。ただ、シンプルだからこそテクニクが必要となります。例えば、音の半音の響きとか、技術面での音の出し方など、爪の角度ひとつとっても音色が変わり、左手の動きでも音程が変わります。いろいろと魅力的な音が、自分の技術の中から追究することができます。それがお箏の魅力です。

その後、東京で沢井忠夫・一恵先生と出会い、お箏の素晴らしさを改めて感じました。お箏を両手でピアノのように弾き、研ぎ澄まされた音とダイナミックさの中に、一音の魅力があつて、「一生この先生についていきたい」と思ったのが、大人になってからの本当のお箏との出会いでした。

#### 音楽との出会い

小学生の時に音楽と出会い、箏に魅せられた和久さん。現在は、東京や栃木県内を中心に演奏活動などを行い、邦楽の素晴らしさや箏の魅力を伝え続けています。今回は、箏の魅力について和久さんに話を伺いました。

#### 子どもたちに伝えたい

もともと東京でスクールコンサートの活動などを行っていました。その時に子どもたちが、目を輝かせて私たちの演奏を聴いていたんです。私はその時に、ぜひこの活動を通して、栃木県の子どもたちにこの音楽を聴いてもらいたい、お箏を通して邦楽の魅力を伝えたいと思います。



スクールコンサートでの様子

#### 楽しみながら

トなどの活動を通して、年間約1万人の子どもたちと向き合っています。そして、日本の伝統文化を伝えていくことが大事なことだと思っています。お箏のもつ可能性を伝えることで、今の若い人たちにつないでいきたいです。

当然練習は楽しいことばかりではないですし、壁にもぶつかることもあります。壁にもぶつかることもありますが、みんなで助け合いながら、そして楽しみながら音楽の魅力を伝え続けていきたいと思っています。

#### ♡インタビュウを終えて

インタビュウ前に「秋の音楽祭」コンサートを鑑賞しましたが、迫力ある音、そして何より生の演奏に引き込まれてしまいました。和久さんの、箏を通して邦楽の魅力や音の魅力を「伝えたい」という強い思いに、音楽への愛を感じました。

令和6年度も田母沢御用邸記念公園では、コンサートを予定しています。ぜひ皆さんも生の演奏を聴きに、足を運んでみてください。